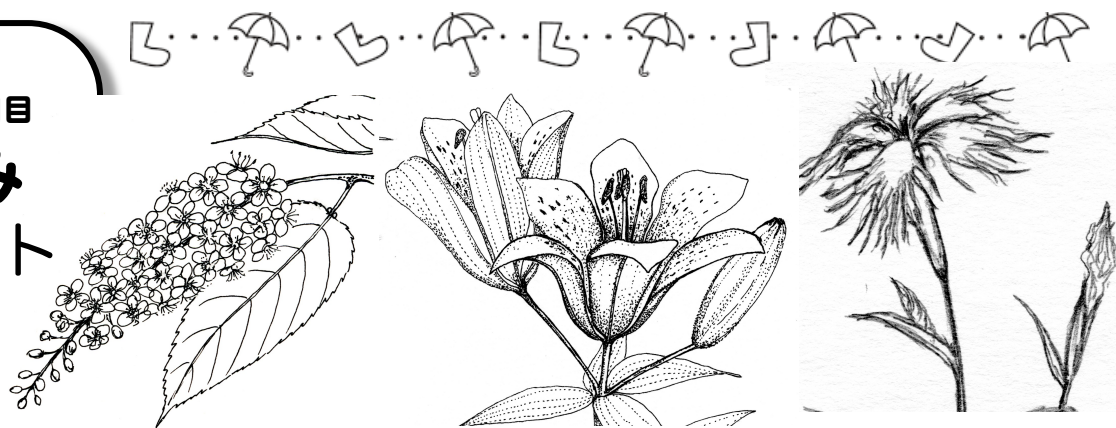


斜里町議会議員 4 期目

桜井あけみ 議会レポート

No. 63

2022年 7月6日発行



5年に一度の北海道フラワーソンがありました。6回目の参加です。
・シウリザクラ ・エゾスカシユリ ・カワラナデシコ

みなさん こんにちは

3月議会の報告レポートをお届けしてから、ひと月も立たない頃に、知床では、大変痛ましく悔しく、悲しい事故が起きました。亡くなられた方がたのご冥福をお祈りするとともに、未だ行方不明の方がたの早期発見を心よりお祈りいたします。

お客さんの命を、安全を、守らなければならない対応を、いくつも怠っていた事業者は、ウトロの方でした。知り合いからは、そんなにずさんな営業をしていた人を、なぜ、町の人たちは指摘してこなかったのか？と言われました。

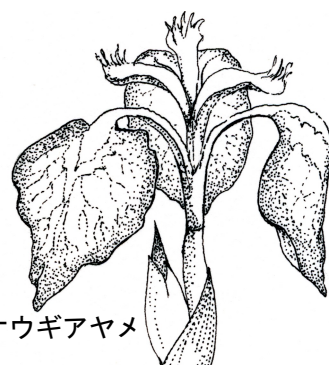
多くのマスコミが、時には行き過ぎた取材対応を責められることもある中で、それでも報道の仕事、目的として、私たち地域の人たちも知らなかった事実や、状況がいくつも明白になってきました。

今回の事故を、忘れることなく、これから、知床の観光は失った信頼をしっかりと取り戻して行かなくてはならないと思います。それが、犠牲になられた方がたへ報いる約束だと思います。

事故を起こさないことが第一ですが、万が一の時にも、しっかりと命を助けることが、大切だと思います。

5月13日の招集会議からスタートした、今年度の議会は、大勢の報道の方が傍聴席にカメラを設置。6月定例会でも、町の方の傍聴の他に、報道の方がたくさん来ていました。

そんな議会のこと、私の意見や考えを交えて、みなさんにお届けします。読んでください。



ヒオウギアヤメ

事故への対応報告で始まった5月13日

●知床では今まで、こんなに大きな事故は経験したことがなく、日本国内でも観光船の事故ではかつてない大規模な事故でした。痛ましい事故ですが、発生時から、町はさまざまな状況の中で、対応を取ってきました。いくつかの国の機関の方々が動き集まる中で、地元自治体の役割は、大変重要と思いましたし、そのような中で職員の頑張りは大きかったと思います。

ご遺族への対応をはじめとして、町長も答弁の中で言っていました「つなぎ役・うめる役」を果たすことが多々あったそうです。

そんな中、5月の招集会議では、それまでに町が対応するために費やした費用の補正予算が計上されました。

・2590万円・遊覧船事故対応事業費

この金額の内訳は、時間外の人件費、ご家族の送迎車両のリース料や、布団のクリーニング費用など多岐に渡ります。この金額について、

「事故を起こした事業者に請求できるものはないのでしょうか？すべきではないでしょうか？」と質問しました。

人の命を預かる事業者の無責任さを感じているけれども、今回の予算計上は、一旦は町からの財源としている。との答えをいただきました。

もちろん、国や北海道に対して財政等の協議を続けて行くそうです。



●知床観光の安全対策と取り組み、全体で確認共有すべきことは、なんだろう？

5月にあった「招集会議」（これから一年間の議会が始まる最初の会議）の時にも、6月の定例会議でも、今回の事故を受けて多くのマスコミの方が議場にも来られていました。事故が起こった当初は、一気に大勢のマスコミ関係者が、事故を起こした事業者への取材を始められていました。数日間不在にした我が家にも、驚くほどの着信履歴とポストには数枚の名刺、携帯のメッセージやツイッターのダイレクトメッセージにも多くのメールが届いていました。帰宅後には毎日のように記者の方が「知っていること、情報などは？議会は？」を聞きに来られていました。

私には、残念なことにそうしたマスコミの方が聞きたい情報もなく、帰っていただく状態でした。でも、最近は「これから、信頼いを無くした知床観光をどのようにすべきと思うか？」という問いかけが多くなり、中には議会の議事録から観光に関わる内容を調べて来られる記者の方もいらっしゃいました。

マスコミの報道で、初めて知ったことも多く、その情報の中には救助の体制が空白だったこともわかりました。国の行う管理体制が問われる、いくつもの課題も出てきました。

過剰な取材体制には問題が多いと思いますが、いくつもの課題が明白になったことも事実ですし、地域では知らなかった事業者の方の運行体制も、課題も見えてきたと思います。

そうした中で運行を開始した小型観光船の方々は、こうした大変な状況の中、今できることの安全対策をまとめて、動き出しました。中には「ほとぼりが冷めるまで、まだ待つべき」という声も聞こえてきましたが、「ほとぼり」とはなんでしょう？

私たちは、今回の事故をこれからも、忘れることなく、目を背けることなくしっかりと向き合いながら、進んでいかなくてはならないと思います。



●こんな
つもりで
一般質問



斜里町の観光振興計画は、2015年に作られて、来年までの計画です。そこには、安全管理についても、明記されています。今回の事故を受け、これからの知床観光で町が関わる「安全管理」はどうあるべきか？について、現在の進行計画に沿って質問しました。

●万が一、事故が起こってしまった時に、命を救うために町ができることがあるはず。救助体制を持つ機関が、そのスキルを十分に発揮できるように、また、空白地帯になっていたことなど、日頃からある課題を、関係機関と協議して行く体制を町としてしっかり構築しておくことが必要だと思います。

●体験観光に観光客の方が参加する時にも、さまざまな場所、メニュー、コースがあります。その体験する場所、内容については、いくつかのリスクが、それぞれ違うことなどを、参加者自身が判断してすることも必要です。そのための情報の可視化が必要ではないでしょうか？



センダイハギ

●フラワーソン調査の時に、オロンコ岩を仰ぎ見るとセンダイハギが咲いていました。今年は、散策道の改修工事で登ることができませんでした。港を見下ろすように咲いている明るい黄色い花も、いつも出港する船を見守っているように思います。素晴らしい自然ゆえにその厳しさを改めて思いました。

●事業者の安全対策と対応については、私はレベルの高い状態で実施されていると思っています。しかし、いくつかの課題が明白にもなったはず。もしもの時に、命を助ける体制のために、地域の課題を反映させて行く流れを、町が作って行くべきだと思います。

今回の補正予算にその計画が示されています。知床で培ってきたノウハウをもとに、進めるべきではないでしょうか？

●オロンコ岩に咲く日本のタイムです。今回は双眼鏡で確認しました。ピンクの小さな花を咲かせます。改修工事でダメージを受けなにか心配です。



イブキジャコウソウ

なんとか、早くやって欲しいから！この方法は！！いいんじゃないでしょうか？と思って また、

子供の医療費助成！取り組みの提案です！

●子育て世帯が支払う医療費が、実質無料になります。その実質無料は、ポイントという形で世帯に還元されます。その還元されたポイントは町内の店舗で利用できます。商店での買い物、ガソリン代、飲食店、宿泊など、町内での消費に利用できます。

町内の消費は、特に、子育て世帯（生産世代と言われる年代です）においては、減少しているというデータがあり、斜里町でも同様だと思います。

すでに、北海道内いくつかの地域が活用しています。子供の医療費負担への町の助成は、179市町村の9割以上が、こうした取り組みを含めて実施しています。財政が課題であるならば、なおさらのこと、子供医療費地域還元事業は、斜里町にとっても有効ではないでしょうか？この事業についてどう思いますか？

美唄市でも！
実施されるんです！

令和4年7月まで

小学6年生まで
医療費全額助成
所得制限なし

令和4年8月から

中学3年生まで
医療費全額助成
所得制限なし



※健康保険適用の医療費に限る

「第7次総合計画で、あるいは、その前の段階で」と昨年9月に答弁されています。取り組みのない市町村も今年度中の動きが多々あります！町の是非！

医療費助成に関して「不公平感もある」と言う答弁もありましたが、それは、全く違うと思います。今回の事業の内容について、どう思うかと聞きましたが、明確な答えもいただけず・・・残念でした。

会議で決まったこと、実施されること

・地域おこし協力隊の募集で「DX・情報発信」の方がまだ見つからないので、募集サイト利用で募集を続けるそうです。 サイト使用料は何名でも同じで掲載期間で価格が変わるそうです。 194万円

・道の駅シリエトク テナント使用料が1140円から760円になります。（面積1㎡の価格です）道の駅は、今後は改修も必要な施設です。今や、どこの道の駅でも多くの集客施設としての存在です。知床も利用者ニーズに応えられる施設改修を急いで欲しいです。

・4月23日海難事故基金条例が制定されました。捜索活動・安全対策・慰霊事業・その他の財源充当に当てられるそうです。この点については、小型観光船などの今後の安全対策備品助成にも活用すべきではないかと思い、質問しました。

・知床アクティビティリスク管理体制構築事業
地域的な安全管理体制の向上やサポート体制を実施します。

・学校、保育所含めた給食費が9月から3月まで無料になるそうです。コロナ・物価高騰の影響を受ける子育て世帯のための負担軽減。コロナの補助金です。

・他にも、ゴミ処理機関係の修繕費・火葬場の修繕費などが計上されました。

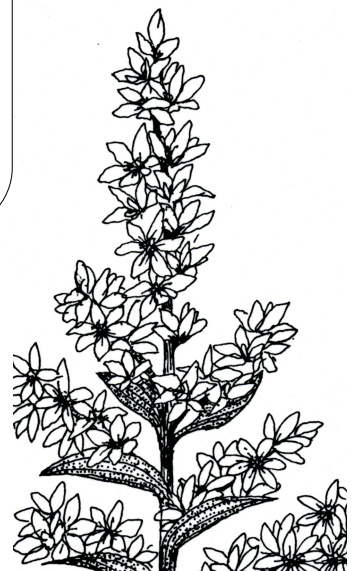
*議会は、一般質問同様に、予算質疑もみなさんの生活につながる人が多いので、ぜひ、ネットで傍聴席で聞いてみてください。

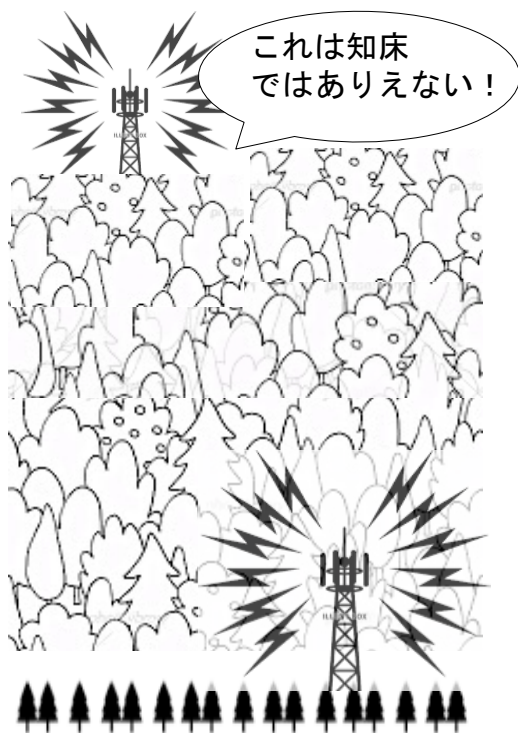
今回も、庁舎や他施設のデジタル化の予算が計上されています。今や、行政事務も、私たちの暮らしでも、デジタル対応が多くなりました。DX・情報発信は、そうした中でも住民と行政をつなぐ重要なツールです。地域おこし協力隊の任務として求めるものなのだろうか？という心配もあります。



旅でも、移動先でも、今や道の駅は欠かせない施設です。地場産商品やグルメ、そして情報を得られる施設です。特に、知床の道の駅での情報発信は、評価が高いのです。今以上に知床の発信拠点に！

● バイケイソウはユリ科の植物です。薄い緑色の花ですが、近くで見るととてもきれいです。一緒に調査した子供たちが驚いていました。





遺産地域・知床半島の携帯通信のこと

以前から、知床半島遺産エリア内では、知床五湖やカムイワッカなど、観光客が利用する地域全般で携帯電話が通じない圏外となっていました。これまでも、さまざまな会議では地域から、何かあった時には、連絡が取れない、電子決済が使えないなど課題となっていました。

今回の事故で、通信についても大きな課題となっていたことから、総務省が携帯を使えるように整備すると言う新聞記事が出ました。

良いことだと思いましたが、これまで、なかなか実現しなかった理由の一つに、遺産エリアの景観と施設建設が課題でした。そして財源かな。

今回どのような規模で、どのような設備になるのか、わかりませんが、少なくとも従来の鉄塔を建てたり、太陽光パネルを設置するのではない方法で、整備すべきだと思います。

まずは、幌別地区と知床五湖までは、整備された道路があります。電源とWi-Fiケーブルは地下埋設などにすべきです。知床の遺産の価値がマイナスにならないように考えて実施すべきです。

それが、遺産エリアを後世に残せる知床の役目になるはずです。

・つぶやき・含めて・私信など

・議員の視察研修と所管調査

これまで、四年間の任期中に議員は、議員研修として6泊7日の国内研修調査事務としての旅費と研修期間が設定されています。しかし、情報取得の多様性と財政の観点から、見直しをすべきと言う声が出ています。私は、この議員個々の研修は廃止すべきではないかと思っています。

また、常任委員会での所管調査（道内、道外）についても回数や、内容を変更する時だと思っています。

しかし、中には「議員研修がなくなったら、さらに議員のなり手がなくなる」と言う発言までされる方もいるなど、なかなか改革には至りません。

研修というあり方を、旅行？と捉えている議員もいるのでしょうか？時代や社会の状況も変化しています。来年は改選の時です。今期でしっかりと議論をしていくことが必要だと思っています。

次回もこの件についてはご報告して行きますね。

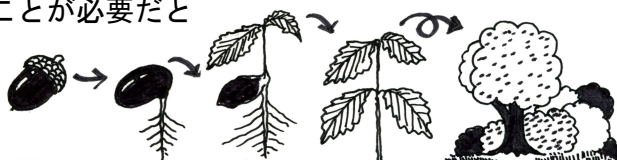
5月に89歳の母が尻もちをついて、小さな骨折で入院しました。それ以前にも一度転んでからは、以前のように一緒に散策などできず、思うように足が上がらない状況でした。でも、現在は入院治療とリハビリで、もと通りに自分で歩くことができるようになっています。旅好きの母ですから、退院したら、一緒にまた出かけます。

コロナ感染で3年ぶりに調査で来日できたドイツ在住の友人も、先日、無事に火山の調査を終えて帰国しました。彼女も3年ぶりに高齢のお母さんと再会でした。

生きること、命は、本当に尊いものだ、このコロナの中で、そして今回の知床遊覧船事故で思いました。ここで、暮らし生活できることに感謝しながら、私にできることを真摯に受け止めて、日々を過ごして行きたいと思います。

先日、おそろおそろ雌阿寒岳に登って、66歳、まだなんとか大丈夫と確認してきました。

無理せずまた、山に行きます。



命のつながり・大切なことだと思います。

みなさんにお届けの議会レポート63号が、やっとできました。遅くなってごめんなさい。

ツイッターとフェイスブックで ほぼ毎日・情報発信しています。

桜井あけみ か、SAKURAI AKEMIで検索してください。

- 議会レポートをブログの方に掲載します。
 - 桜井あけみ「ふつう」の生活 で検索しても出て来ます
 - <http://akemiburogu.sblo.jp/> コメントを待っています。
- 「桜井あけみ後援会」活動報告書 099-4351 斜里町ウトロ香川104



メールアドレスは
koe@akemichan.net
です。

携帯からのメールは、こちらからの返信が届かないこともあります。ご了承ください。

文中の誤字脱字については、お許しください。ごめんなさい・・・